

地盤沈下等水管理推進費

(適正な地下水の保全と利用のための管理方策の検討)

29百万円(18百万円)

水・大気環境局 地下水・地盤環境室

1. 事業の必要性・概要

地下水を巡っては、健全な水循環の確保に配慮した流域単位での総合的かつ一体的で持続性のある管理が必要とされており、また、現在議論が進められている水循環基本法の中でも指摘されているように、水が国民共有の貴重な財産であり、公共性の高いものであることに鑑み、地下水の公水化の必要性についての議論も考慮した適正管理の方策について検討する必要がある。さらに、都市部でのヒートアイランド対策や今後のエネルギー利用において、未利用・再生可能エネルギーとしての地下水利用の普及が重要な課題となっており、一方で、揚水規制地域における地下水位が高すぎると、地震時の液状化にはマイナスに作用するとの意見もあること等を踏まえた地下水の有効利用を図る方策が求められている情勢となっている。

このような情勢に適切に対応し、今後の地下水・地盤環境の保全行政を円滑に推進していくため、地盤沈下を防止しつつ地下水の保全と有効利用を図る方策を確立する必要がある。

2. 事業計画（業務内容）

- ①地下水の有効利用を図るための技術的検討
- ②地域特性を踏まえた地下水のモニタリング方法の検討
- ③適正な地下水の保全と利用を図るための管理方策の検討
- ④被災地の地盤沈下地域における地下水利用のあり方の検討
- ⑤新たな地盤沈下観測手法の検討

等を実施し、その成果として地方自治体向けの「地下水の保全と利用のガイドライン（仮称）」を策定するとともに、現行の揚水規制制度の見直しの可能性について検討する。

	H24	H25	H26	H27
適正な地下水の保全と利用のための管理方策の検討				

3. 施策の効果

地盤沈下を防止しつつ、適正な地下水の保全と有効利用を図るための管理方策が確立でき、円滑な地下水・地盤環境の保全行政が推進される。

地盤沈下等水管理推進費

〔適正な地下水の保全と利用のための管理方策の検討〕

背景・課題

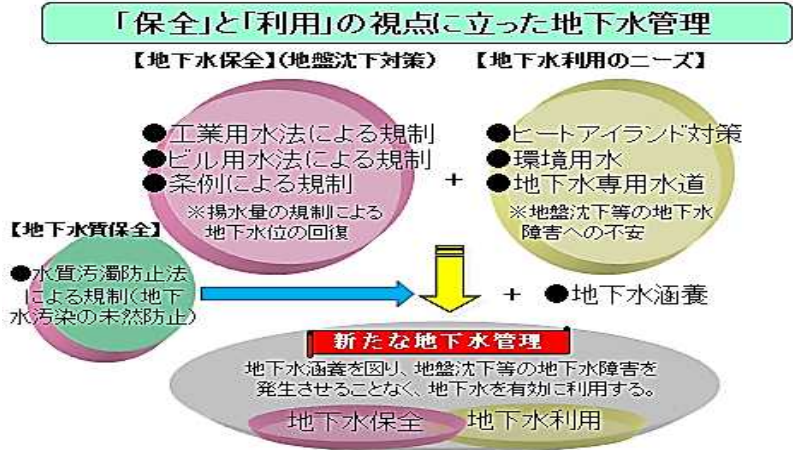
- ・地下水を巡っては、健全な水循環の確保に配慮した流域単位での総合的かつ一体的で持続性のある管理が必要
- ・地下水の公水化についての議論を踏まえた適正管理方策の検討が必要(議員立法として「水循環基本法」提出予定)
- ・都市部でのヒートアイランド対策や今後のエネルギー利用において、再生可能エネルギーとしての地下水利用の普及が課題
- ・揚水規制地域における地下水位の上昇が地震時の液状化に与える影響等を踏まえ、地下水の有効利用が課題

地盤沈下を防止しつつ、地下水の保全と有効利用を図る方策を確立することが重要

概要

- ・地下水の有効利用を図るための技術的検討
- ・地域特性を踏まえたモニタリング方法の検討
- ・地下水の保全と利用のための管理方策の検討 等

地下水の保全と利用のガイドライン(仮称)策定
現行の揚水規制制度の見直し可能性の検討



今後の地下水・地盤環境の保全行政を円滑に推進していく